

平成 27 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 27 年 11 月 6 日（金）

開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 35 分

場所：中上構造改善センター

参加者：男 27 人、女 3 人 計 30 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

《 懇 談 》

男性 新生産業のことですが、桑名市からの農用地区域からの除外の許可がおりない。東員町は土地の買収が終わって許可が下りているということですが、かなり長くこの状態です。私たちは近くに住んでいますから、振動、騒音、路上駐車は常です。私は仕事柄夜勤もあって睡眠障害もあるんです。質問なんですけど、まずは移転がどうなるのか。早期にできるのか、桑名市が嫌だといった場合、どうなるのか。土地は買収していますから、道路はそのまま、工場だけ移転はできない。あそこはあきらめて東員町の中で新生産業が動くことができるのか、そうなった場合、新生産業が買った土地はそのままになってしまいます。中上は三孤子川が通っていますので大雨洪水の時に氾濫が起きる可能性があります。そこで、その土地に貯水プールのようなものを作って洪水が来た時にだけ、一時的に貯水することなどに活用できないのかなと思うのですが、新生産業の状況が私たちにはみえてこないのを知りたいのですが。

町長 その件については、その話を半年前に聞きまして、この問題は中上だけでなく志知の問題でもあるので、志知から桑名市へあの道路を通らず、新しい移転地から県道へ直接入るよという要望をするということで半年前に決めて、桑名市志知の自治会に預けてあったのです。それが音沙汰ないので、建設課から新生産業にどうなっているのか聞いてみたんです。新生産業としては、遅いんですが、志知の自治会に働きかけて、要望書を桑名市長宛に 9 月の日付で作ってあったのですが、司法書士の事務所にあってまだ出されていないのです。その話が自治会長さんのところにもいき、先日自治会長さんが私のところに来ていただいたのですが、なぜ 2 か月止まっていたかわからないのですが、早く出すよう伝えたので、おそらく桑名市長に持っていかれたと思います。来週桑名市長とその件で会うことにしましたので、確認します。桑名市長に直談判して、桑名市長の政治的判断でやっていただくしかないと思っています。早急に移転しないことにはどうしようもないと思っています。

男性 65 歳以上の保険料ですが、桑名市といなべ市と東員町の中で、東員町は高いというデータはありますか。

町長 健康保険料は各市町で違うはずですが、病院へかかる人の率にもよるし、様々な要素が入ってきます。県内では高い方からみて、6番目くらいです。

総務部長 三重県は南北に長いですが、お医者さんが多いところは医療費が高くつきます。東員町はやや多い方で、上から6番目なんですけど、三重県が国民健康保険をまとめてしようという話も聞いたことがある方もみえるかもしれませんが、保険料のばらつきをなくそうとそういったことも出てきております。平成30年度に三重県で統一した保険にしようというのが今の動きです。国民健康保険に入っていない方もいますので、一般の税金から国民健康保険だけに税金を出せば保険料は下がりますが、それは不公平でもありますので、平成30年の県下の統一になるまでは、それぞれの市町の年間の医療費を推計して決めますので、医療費が多ければ保険料は高くつくことになりません。

男性 先ほどぶどうの話がありましたが、職員の方がやっているのですか。どなたかに管理を任せているのですか。

これから発展させる時に高齢者の方が非常に元気だという話もありましたので、そういうところで働けるのもいいのかなと思います。

町長 今は職員がやっています。また、町外在住の農業普及所のOBにアドバイザーとして来ていただいて、やり方を教えてもらっています。でもできれば、地域の方も手伝ってもらいながら、これからやっていきたいと思っています。

少し話は違うのですが、その隣で、障がい者の方を雇って今野菜作りをしています。農業と福祉の連携で、そこは、長深の人2人と別の女性1人の3人を雇って、障がい者の方も雇って野菜を作っています。この間、サツマイモとゴマを収穫して今はタマネギを植えて、冬場に向けてタマネギとニンジンの栽培を、障がい者の方が基本的にやるんですけども、障がい者の支援員として、地域の方を雇っていただいています。こういうことをこれから増やし、一緒になって特産品を増やしていければと思っています。これからは、高齢者の皆さんにもそういう場で働いて稼いでいただきたいと思っています。自分で家庭菜園を楽しんでいるのと、給料をもらうのとでは、違いますから、そういう形で稼いでもらうことができればと思います。

男性 二つほどあるんですが、人口減少の話がありましたが、三和地区は市街化調整区域です。例えば自分の子どもや親戚がこちらに来たいと言っても土地を宅地に変えることができないのです。市街化調整区域を撤回すればこちらに家を建てて人口が増えるのではないかなと、またイオンの近くにお店ができたりとか、イオンの周りも家を建てることできれば人口が増えるのではないかなと思うのですが、市街化調整区域を撤廃する意向はないのでしょうか。もう一点、今農業を放棄した土地がありますよね。

それが、草だらけになって危ないんですが、そういうところは、町から指導することはできないのでしょうか。町の土地もそういう土地があるようですが、雑木林になってまむしもいて、入っていけないみたいなんです。ちょうどつばきさんの裏になるんですか、あれは県道の下で町の土地だといってみえたけど、どうなんでしょうか。

町長 まず人口ですが、神田、稲部は増えています、三和は減っています。これは言われたように、三和地区だけ住宅の市街化区域がないのです。市街化調整区域を撤廃することは不可能です。この三和地区に人口を増やさないと人口バランスが崩れると思っています。町全体のバランスとしては、今神田を増やすよりも三和地区へ増やすのが良いとは思っております。ですから、県や国に向けて今の法律の中でどうしたらいいのかを働きかけています。農振農用地を何とか開発できるようにしてもらわないと仕方がないという話をしています。国が地方創生というのなら、本当の地方創生、地方が自分の町を考えた時に本当にできる地方創生をさせて欲しいと働きかけてはいます。今の規制の中で出来ること、三和地区では 70、80 軒から 100 軒までの間で住宅開発は可能だと思っています。とりあえずはそこから県と話をしてスタートしていきたいと思っています。それから耕作放棄地ですが、今農業をやっている長深も耕作放棄地だったのですが、東員町は、わりと放棄地は少ないです。ただ、やはり少しずつ出てきていますので、我々も何とか考えていかなければと耕作放棄地対策には取り組んでいます。

男性 自分のところの土地だけならいいですけど、用水まで木が垂れ下がってきて何ともならないんです。そうなるとどうしようもできない。家の裏でも電線までつかえて、切ってもらったんですけど、そうなってくると手もつけられないのでね。

町長 そうならないうちに何とか解決したいとは思っています。

政策課長 町の土地については、今自治会長に場所を教えていただいたのですが、また調べさせていただいて、自治会長さんに回答させていただきます。

男性 イノシシが中上でも見られて困っているのですが、補助はないのかと産業課にも相談に行ったんですけど、いなべ市にはあるけど東員町にはないので、県の補助とかを調べると言われましたが、それからどうなっているのでしょうか。

総務部長 産業課長から話は聞いています。ただ即答できる内容でなく、中上だけではないようで、色々確認して検討はしていますが、なかなか難しいようです。

男性 私の家の裏の家なんですが、廃墟で壊れそうな家があつて、産業課にも相談したんですが、地権者に文句言ってくれと言われたんですが、地権者は町になるはずなんです。どうなんでしょうか。

町長

その件は個人のものなのか、国のものなのか何かわからないので、ちょっと調べないと対応できません。少し調べさせていただきます。